

あやめが丘



「ご挨拶」

同窓会会長 林田 新一

(昭和42年卒)

口加高校同窓会会員の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

会報誌「あやめが丘」第54号の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

長崎県立口加高等学校は、明治35年に「口之津女子手芸学校」としての誕生から118年を数え、卒業生21,175名を排出する伝統ある高校です。そして本会はその卒業生によって組織される同窓会です。

本会是全国に15の支部があり、各支部においてはそれぞれに交流活動を行っております。そして、各支部からは、折に触れ同窓会、学校、生徒へ一方ならぬご支援を賜っております。

昨年度は残念ながら、未曾有のコロナ禍で全ての交流活動の実施が叶いませんでした。本部の総会、全国支部長会、各支部会の総会等の開催を断念せざるを得ず、結果的にこの会報誌の発行が唯一の交

流活動となつてしまいました。

平成29年に、会報誌「あやめが丘」を送付可能な約1万7千名の会員の皆さんへ直接送付を始めました。母校の状況や同窓会の近況などを皆さんへお届けすることを目的として、母校への想いを馳せていただければとの思いからでした。

会報誌の全国発送に際しては、費用面の懸念もありましたが、サポート事業として皆様へご協力をお願いし、結果として多くの方のご賛同を得て、今回で5回の発行に至ることができました。これまでご協力いただきました皆様方へ直接の御礼が叶わず恐縮しておりますが、今回の紙面にご芳名を記載して謝意を表させていただきます。

さて、伝統ある口加高校も近年の少子化の波のなか、生徒数の減少が続く平成29年には入学者数が69名という状況となりました。巷間に存続の危機すら流れるなかで、

口加高等学校
同窓会誌

【発行者】
口加高校同窓会事務局
TEL 0957-86-2180

【印刷所】
シロカワ印刷
TEL 0957-87-2157

【題字】
会長 林田新一 氏 筆

福祉科のみならず部活動においても、遠隔地から口加高校への生徒募集を可能として、生徒数を増やしていければと考えています。

3月1日には69名の卒業生が口加高校を巣立ちました。

そして、卒業式に先立ち前日の2月28日に同窓会への入会式を行い、新たな会員として彼らを迎え入れることができました。

縁あつて机を並べた横のつながりは勿論、未知の者が学び舎を同じくしたというだけで、10年の旧知の如く語り合うことができるのが同窓の力である。同窓会誌にこのような記述がありました。

学友が横の糸とすれば、同窓の繋がりには縦の糸といえるでしょう。横の糸と縦の糸、この二つを紡ぐことで絆が生まれ伝統が形成されていくのだと思います。

「あやめが丘」という空間を共有したという思いこそが口加高校同窓会の絆を創り、そして私たちの心の拠り所となつていると考えています。

口加高校は令和4年度に創立120年を迎えます。新たな時代幕開けとなるよう、同窓会として出来る限りの協力を進めていきたいと考えています。

会員の皆様の更なるご協力をいただき、口加高校の益々の発展に寄与していきたいと考えます。

コロナ禍の中、同窓会の活動も制限され、会の運営も、本部・支部共に苦勞、苦難の感があります

が、同窓の想いを持ち続けて乗り切っていきたいと思っています。



令和3年度 口加高校同窓会総会のご案内

《第1部：第5回 口加塾》

【日時】令和3年11月15日(月)
午後1時05分～

【場所】口加高校体育館

【講師】平野康博氏(昭和43年卒)
(南串山町出身、東京都在住)

《第2部：同窓会総会及び懇親会》

【日時】令和3年11月15日(月)
午後5時

【場所】口加高等学校

ふるさと交流館(多目的教室)
【懇親会】9月末に開催の判断をします

もくじ

同窓会長あいさつ	P1
同窓会入会式・卒業式・入学式	P2
進路状況・部活動結果など	P3
支部だより (関東中部・関西) (博多・長崎・諫早)	P4
校長あいさつ	P5
学校の話題など(新聞切抜き)	P6
特集がまです！	P7
特集「羽ばたけ！ 第3回卒業代表幹事」	P8
令和2年度サポート事業協力金	P9
ありがとうとございました	P10
あやめ寮創設編集後記など	P12



同窓会入会式・第73回卒業式 新入会員69名を迎える

第73回卒業証書授与式が、令和3年3月1日に
挙行され、73回生69名が卒業証書を手にしました。
それに先立ち、2月28日には同窓会長をはじめ本
部役員が出席し、同窓会入会式が行われました。

令和2年度の卒業生は、男子32名、女子37名の合計69名です。
あやめが丘で育った若者たちが、それぞれの目標に向かって全国
各地で大きく羽ばた
きます。各支部は温
かく迎えてください。

同窓会入会式は全
校生徒と同窓会役員
が出席して行うよう
になっておりまし
が、新型コロナウイルス
蔓延防止のため、
新入会員と本部同窓
会会長と副会長
のみの参加とな
りました。



口加高校同窓会会員（令和2年度）

女子手芸学校	599
実科高等女学校	1,336
高等女学校	310
高等女学校中等部	80
（女学校計）	2,325
口加高校 普通科	13,711
家政科	2,412
商業科	1,388
（計）	17,442
定時制 各分校（計）	1,339
（口加高校計）	18,781
合計	21,175



同窓会会長・校長の旅立つ
新会員へ向けての激励のメッ
セージの後、第73回卒業生代
表幹事として、松尾優輝さん
山口愛さん（9ページで紹介）
が選出されました。
新しいステージに立つ新入
会員69名に温かいご声援とご
助力をお願いします。



令和3年度入学式（4月8日）

春の暖かな日差しの下、普
通科（普通コース）50名、普
通科（グローバルコース）29
名、福祉科11名、計90名の新
入生は教職員や保護者に見守
られながら、式に臨みました。
代表宣誓をグローバルコース
糸山慎さんが力強く行いまし
た。コロナ感染防止対策で、
式場に入れなかった2・3年
生が会場から出てきた1年生
を拍手で温かく迎えました。

現在の口加高校の学年定員
数は120名普通科（普通コ
ース）54名、普通科（グロー
ルコース）40名、福祉科26名
です。最近左表にもあるよ
うに、定員枠を確保できない
状況が続いています。初々し
い90名の新入生を、私たちも
心から応援していきます。



口加高校の現況（令和3年度）

	男	女	計
1年生	40	50	90
2年生	36	56	92
3年生	36	65	101
計	112	171	283



令和2年度 長崎県高等学校総合体育代替大会結果一覧 (2020.6.6(土)~)

陸上競技《男子》	陸上競技部 (県内3年生だけの大会) 円盤投【第5位】井上英哲 ハンマー投【第2位】井上英哲 100m【第3位】柴内敬都 200m【第1位】柴内敬都 4×100mR【第2位】 (柴内・深山・本村・今村) 4×400mR【第2位】 (深山・今村・尾崎・柴内) 5000m【17'37"84】松尾優輝 100m【第1位】近藤萌果 200m【第1位】近藤萌果 4×100mR【第1位】 (今村・近藤・松藤・本多) 4×400mR【第2位】 (近藤・北村・本多・原)
陸上競技《女子》	5000mW【第2位】森下楓 100mH【第3位】森下楓
陸上競技《駅伝》	男子【第13位】 女子【第6位】
バレーボール《女子》	令和2年度 中地区高校バレーボール合同練習会 《予選リーグ》口加 1-0 諫早商業 口加 1-0 長崎日大 口加 0-1 島原 《2位決勝T》口加 2-1 大村城南 口加 0-1 諫早 【2位グループ 準優勝】
バスケットボール《男子》	口加 21-65 島原工業 口加 39-70 大村工業 口加 28-36 創成館
卓球《男子》	中地区高校3年生交流卓球大会 林田拓実【2位パート優勝】
卓球《女子》	中地区高校3年生交流卓球大会 森山愛羅【予選リーグ1位通過1位グループ進出】 高橋優歩【3位グループ優勝】 門畑莉奈【3位グループ3位】
ソフトボール	口加 7-8 佐世保東翔 口加 12-1 諫早商業
ソフトテニス《女子》	練習試合 口加 1-2 長崎女子
ソフトテニス《男子》	口加 0-3 島原 口加 0-3 西陵 口加 0-3 島原工業
サッカー	中地区サッカー交流会2020 口加 0-7 島原商業

《野球》長崎県高等学校野球大会

(1回戦)口加 5-4 松浦 (2回戦)口加 1-8 佐世保工業



令和2年度卒業生 進路状況 (令和2年3月 卒業生 普通科69名)

合格実績 (延べ人数、過年度卒を含む)

国立大学	8人	医療系専門学校	15人
公立大学	4人	その他専修・各種学校	16人
私立大学	36人	公務員就職	4人
短期大学	7人	一般就職・自営	0人

合格校と合格者数

《国公立大》広島大1、鹿児島大2、熊本大1、佐賀大1、山口大1、島根大1、宮崎大1
 《公立大》長崎県立大3、下関市立大1
 《私立大学》北海道情報大、東海大、東京農大、立命館大、大阪物療大、神戸学院大、岡山理科大、広島文教大、久留米大、西南学院大、筑紫女学園大、西日本工大、福岡大、福岡女学院大、日赤九州看護大、西九州大、活水女子大、長崎純心大、長崎総合科学大、長崎国際大、鎮西学院大、崇城大、熊本保健科学大、第一工大
 《短期大学》香蘭女短、中村学園大短大、福岡女学院大短大、福岡医療短大、京都職能短大
 《医療系専門学校》日本医科大学看護専門学校、横浜医療センター付属横浜看護専門学校、トヨタ看護専門学校、京都府立看護学校、清恵会医療専門学校、関西看護専門学校、久留米大学医学部付属臨床検査専門学校、柳川リハビリテーション学院、福岡和白リハビリテーション学院、島原市医師会看護学校、天草市立本渡看護専門学校
 《その他専門学校》福岡キャリアナリー製菓調理専門学校、KCS福岡情報専門学校、公務員ビジネス専門学校、専門学校日本デザイナー学院九州校、中村調理製菓専門学校、福岡ビューティーアート専門学校、長崎公務員専門学校、福岡ビジョナリーアーツ、福岡ベルエポック美容専門学校、福岡カレッジオブビジネス専門学校、大原医療福祉専門学校福岡校こども保育、九州テクノカレッジ
 《就職・公務員関係》自衛隊2、長崎県警1、刑務官1



《水泳》長崎県新人体育大会水泳競技

吉田ひな 200m 平泳ぎ【3位】 100m 平泳ぎ【7位】

《福祉科》福祉教育フェスティバル2020【奨励賞】

第1回長崎嚙下食デザートコンテスト【奨励賞】

第9回長県高校生福祉体験発表会【奨励賞】

《グローバルコース》第9回島原半島ユネスコ世界ジオパーク高校生研究発表大会

植物班【最優秀賞】 看板班【優秀賞】 ビジネス班【審査員特別賞】
環境班【審査員特別賞】 防災班【研究奨励賞】

《放送部》九州高校放送コンテスト県央地区大会

《アナウンス部門》森島 采映【優良賞】 円口 愛子【決勝進出】

《朗読部門》立花 理紗【県大会出場】 前田 陽花【決勝進出】

《放送部》「たらみ図書館」放送コンテスト(第19回長崎県中地区放送コンテスト)

《朗読部門》立花 理紗【準優勝】

《アナウンス部門》円口 愛子【優良賞】

《個人》新潮文庫 第8回中高生のためのワタシの一行大賞

茅ノ間 莉羽【優秀賞】

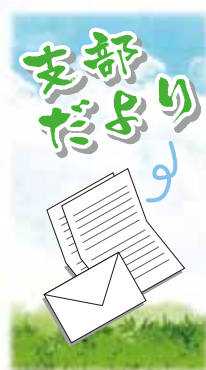
《個人》第14回南島原市人権啓発標語

《一般の部》城谷 優衣【最優秀賞】 水田 芽依【優秀賞】

音部 優依【優秀賞】 立石 晃平【努力賞】

《個人》税に関する高校生の作文

菅 心【優秀賞】 円口 愛子【優秀賞】



関東口加会

会長 平野 康博
(昭和43年卒業)

『自然と調和した新しい ライフスタイルを!』

ご卒業おめでとうございます。
3年間の高校生活を終え、それぞ
れが新しい道、新しい出会いに向
けて歩き出されることを心より嬉
しく思います。

2020年の関東口加会は新型
コロナの影響により会場に一堂に
会することを止め「あやめが丘記
念誌」を会員の皆様へ配布するこ
とにしました。2021年は10月
24日(日)熱海温泉で開催する予定
です。近くになりましたら案内状
を送りますので奮ってご参加下さ
いますようお願い致します。

安倍政権での働き方改革はあま
り普及しませんでした。新型コ
ロナの出現により一気に加速し、
あつという間に働き方や生活環境
が変わってしまいました。会社で
はテレワークやテレビ会議の普及、
学校ではオンライン授業などで今
までのライフスタイルが急変して
しまいました。この現象はコロナ
が落ち着いても継続することは間
違いありません。従って、私達の
生活や働き方も世の中の動きに合

わせて変化させる必要があります。

先ず、高校を卒業すると都会の
会社に就職し、進学する人は都会
の大学に入り、卒業後は都会の会
社に就職します。都会と言うのが
キーワードです。つまり、出来る
だけ大きな世界に身を置くこと
です。その都会で最低10年間働か
ながら仕事を覚えます。仕事はな
るべく上流から下流工程まで自分
で一通りこなせるようになることが
条件となります。10年たったら家
族全員で故郷にUターンします。
今まではUターンしても仕事が無
いというのが大きな壁でしたが、
コロナでその問題も無くなってい
まいました。つまり、都会の仕事
をそのまま持ち帰れば問題はあり
ません。自宅をローカルオフィス
とし、しばらく経ったら独立(起
業)を薦めます。同じような人が
居たらネットワークを組んでお互
い仕事を廻しながら仕事量の平準
化を図って行けば良いでしょう。

これにより人口減問題や世継ぎ
問題が解消し、故郷の活性化に貢
献でき、妻子は勿論、両親とも一
緒に暮らしながら都会にいた時と
同じ仕事ができる訳です。

これまでの幸せのモノサシは成
長・発展・便利にありましたが、
地球も社会も軋みが生じ、既にこ
れまでは違ったものになりつつ
あります。2011年の東北震災
からコロナまでの10年間、自然が
私たちに問いかけているのは何な
のかを真剣に考えるトキがきてい
ます。自然と調和した新しい生き
方やライフスタイルを構築するに
は上記に述べたUターンの方法で
可能なのではないでしょうか。

中部口加会

幹事 松本 仙作
(昭和38年卒業)

3年生の皆さま、ご卒業おめ
どうございます。この時期、進学
へ、社会へ、それぞれのお気持ち
は、広く大きく膨らんでいらっし
やることでしょう!

新型コロナウイルス禍では、皆さんの将
来の楽しい思い出となる筈の高校
総体や修学旅行などが、中止や大
幅な変更を余儀なくされた、と聞
いております。

また進学する人たちにとっては、
新たな入試制度の導入に戸惑った
人も多かったのではないでしょ
うか。

皆様にとって、前例のない大変
な最後の一年間でしたね。この特
別な年が、後年懐かしい思い出と
して、皆さんの間で語られること
を、心から願っております。

私ごとですが、グローバルコー
スの新設、オーストラリア留学プ
ランなどでは、当時の下釜校長先
生と少し意見交換をさせて頂きま
した。また、2016年、東京浅
草で開いた在京OB/OGとの交流会
と、最初の「一口加塾」では、それ
ぞれスピーカーとしてお招きいた
だきました。以上のようないろい
ろな関わりで、卒業以来半世紀以
上経っても、母校口加高校への愛
着はひとしおです。

名古屋は東海道新幹線に加え、
2027年にリニアモーターカー
が開通すれば、東京まで40分。ま
さに東京通勤圏となります。
また、中部地区は日本の主要産

業の中心地でもあり、発展の可能
性が大きな地域です。皆様の将来
の職場としても、ぜひご一考くだ
さい。

大勢の優しい先輩たちがお待ち
しております。写真は、毎年開いて
いる幹事の新年親睦会の様子です。



幹事会：新年親睦会の様子

関西口加会

会長 畑田 豪八郎
(昭和44年卒業)

卒業生の皆さん、卒業おめでと
うございます。既に社会へ出元氣
一杯頑張っておられる又は進学さ
れ勉学に励まれているところかと
思います。授業やクラブ活動で培
われたこと大いに発揮して下さい。

また一方池上彰さんのコメント
に「諸君。学校出たら、勉強しよ
う」とあります。仕事において
も勉学においても一歩前へ出ると
知ることが沢山出てきます。
その知ろうとすることすなわち勉

九州電力(株)口之津営業店 電気工事設計施工

有限会社 高木電気商会

〒859-2504 長崎県南島原市口之津町丙2007-2
TEL 0957-86-2246 FAX 0957-86-4512

代表取締役 高木 憲一 (S63年卒)

高木 正憲 (S36年卒)

こだわりの「新鮮野菜」あなたの元へ!!

忠 飯田青果 有限会社

長崎県南島原市口之津町丙4319

TEL (0957) 86-3161 (代)

URL <http://iidaseika-potato.com>

代表取締役 飯田 弘巳 (H6年卒)

強です。トライすることが勉強へと繋がって行くと思います。どうぞ希望を持ち突き進んで下さい。この春の選抜高校野球大崎高校を応援に行きました。口加と同じ地方の高校です。全校生徒118名と口加よりさらに規模は小さいです。その高校が甲子園です。我が口加もいつの日かと応援しました。試合には負けましたが地元大島・崎戸の皆さん大喜びでした。口加においても野球に限らず地元がこぞって応援する日が来るのを楽しみにしています。

関西口加会の皆さん、いつも応援・協力頂き有難うございます。同窓会は例年7月に開催していますが、去年に続き今年も中止することになりました。秋口でもと検討しましたが今年(令和3年)は完全に安心するという状況は難しいと判断しました。ご理解宜しくお願いします。その代わり来年思いっきり盛り上がりたいたいと思います。頑張ります。来年(令和4年)は7月3日を予定しています。またご案内します。沢山のご参加お待ちしております。

口加博多会

会長 荒木 省三
(昭和42年卒業)

令和2年9月に予定していた口加博多会はコロナウィルスにより中止となりました。幹事の皆さんとの打ち合わせもメールで済ませ、ホテルクリオート博多や同窓会ネットの予約を6月にキャンセルしました。その後もコロナの勢いは

衰えることなく世界に蔓延しています。12月には残念ながら、博多会の幹事役を代行してくれた同窓会ネットから廃業の連絡がありました。私たちは今、非常事態宣言下で、一人一人が感染しないような行動変容に迫られています。

今年の同窓会活動については、この状況では感染防止を最優先に考え、大変厳しいと思います。ワクワク感の効果がいつ頃現れるのかわかりませんが、なるべく早く収束するという希望を持って、今のところは様子を見るを得ないと思っています。マスクを外して生活できる日が来るまでは多数での集まりや飲食を伴うものについては休止します。

口加長崎会

会長 平 敏孝
(昭和46年卒業)

今春卒業の皆さんおめでとうございます。コロナ禍というこれまでと全く異なる状況の中での旅立ちとなり、希望とともに戸惑いもあるかと思いますが。当会でも毎年の秋の例会の開催が中止となりました。母校百周年を契機に長崎支部活動が再開され十八年続いた例会が途絶えることになり残念な1年でした。

40年前、同窓会の存在も知らなかった20歳のころ、私は当地長崎で、ある先輩口加出身者を応援する会合に出ました。何名かの発言に続き口加高等女学校卒ですとおっしゃるご婦人が「努力・精進をつづけ新たなチャレンジをしよう

う」としている後輩がいらっしゃるのだからみなで助けましょう」場の空気をいっぺんに前向きにしたこの言葉が同窓会活動に関わる始まりでした。青春の思い出の共有、社会に巣立つ新卒生への手助け、社会生活での相互扶助など、同窓会を通じて幅広い人たちとふれあう有意義な機会を得られると思います。

卒業生の皆さんにはフレッシュな気持ち忘れず頑張ってくださいと思います。我々も皆さんの手助けになれるような口加長崎会を運営したいと考えています。長崎、西彼近辺にお住まいの方はぜひご一報ください。皆様の参加を心より歓迎します。

写真は再開が進む現在の長崎駅周辺です。今秋以降、色々な施設が続々と開業する予定です。全国の皆様、ぜひ長崎にもお立ち寄りください。連絡いただければ現地の情報提供・案内等お手伝いいたします。



再開が進む長崎駅周辺

諫早口加会

会長 志賀 正幸
(昭和61年卒業)

諫早口加会同窓会は、校長先生、本部役員のみならずをはじめ各地区の先輩方をお招きして行っています。有名同窓会による進行では盛り上がり、オカリナ演奏や豪華景品のビンゴゲームなどで親睦をはかり、最後は校歌でしつとりと閉じるのが例年の流れです。ゲストの方から「諫早は楽しか」とお声をいただくことが嬉しくて、開催していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、12月に役員のみ同窓会を行いました。毎年お顔を拝見していたゲストの皆さんと会えなかったことは、役員一同残念でなりません。一日も早く新型コロナウイルスが終息することを願うばかりです。さて、こうしたなか令和3年度に本会は結成30年を迎えます。そこで、事務局長の計らいで令和4年の2月頃に諫早の県立運動公園内に記念植樹を行うこととしました。母校の桜の花を想いながら、青春の樹となることを祈ります。



諫早神社に奉納されている疫病退散の妖怪「アマビエ」



中島建設株式会社

代表取締役 中島 浩平 (S61年卒)

■本社 〒859-2605 長崎県南島原市加津佐町乙86番地1
TEL0957-87-2181 FAX0957-87-3539

■島原支店 〒855-0808 長崎県島原市加美町1017番地2-2F
TEL0957-62-0606 FAX0957-62-0607

URL <http://www.naka-shima.com/>
建設業許可 長崎県知事(特-1)第12385号
宅地建物取引業許可 長崎県知事(4)3391号

／けっこういろいろあるんです／
食料品 衣料品 シューズ 薬局
化粧品 ギフト 100均
お花 お酒 たばこ 美容室

楽しく! 優しく!
の言葉をモットーに毎日元気に
営業しています!!



(協)口之津ショッピングセンター
サンピア
南島原市口之津町甲2752
TEL 0957-86-5100(代)

平 幹宏 (S60年卒) 岩本憲二 (S44年卒) 林田新一 (S42年卒)
塩田勝彦 (S46年卒) 荒木 勝 (H5年卒)

創立百二十周年に向け 口加高校いざ始動！



校長 潤 一
校竹

◆はじめまして

昨年度は、全ての同窓会総会・懇親会が開催されませんでしたので、同窓生の皆様に直接ご挨拶する機会がなく失礼いたしました。1年経ってしまいました。令和2年度に校長として赴任しました竹嶋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

◆苗雪の功を積み、春の 陽光の中73回生旅立つ

2月28日に、同窓会入会式を執り行っていたとき、3年生が晴れて同窓会の仲間入りをしました。翌日3月1日には、卒業証書授与式を挙行了しました。来賓のご臨席を賜えることはできませんでしたが、69名の卒業生が胸を張って本校を巣立っていきましました。卒業生一同の新天地での活躍を期待するとともに、同窓生の皆様には、全国各地で新会員となった若者を温かく迎えてくださいますようお願いいたします。

◆令和2年度 卒業生の主な進路先

卒業生の主な新しい居住地は以下のとおりです。

- 島原半島内(3名) ○長崎市(9名) ○佐世保市(3名) ○諫早市(1名) ○佐賀県(2名)
- 熊本県(5名) ○福岡県(28名) ○宮崎県(1名) ○鹿児島県(3名) ○中・四国(6名)
- 関西(5名) ○中部(1名) ○関東(2名)

◆令和2年度の 口加高校の現況報告

(1) 全国レベルでの生徒たちの活躍

① 読書エッセイコンクール での優秀賞受賞

※参照①

グローバルコース2年生の茅ノ間莉羽さんが、新潮文庫中高生のためのワタシの一行大賞において、全国から寄せられた18、757作品の第2位に相当する優秀賞を受賞しました。宮沢賢治の「新編銀河鉄道之夜」の中から「どこまでもどこまでも一緒に行く。」の一行を選んで書いた「想い」が評価されました。

② 全九州高等学校新人陸上 競技大会《3位入賞》

※参照②

県新人大会で優勝し、令和2年10月16日～18日に諫早市のトランス・コスモスタジアム長崎で開

催された全九州大会のやり投げに出場した1年生の山崎純音さんが3位入賞を果たしました。

(2) 生徒の取組

① 口之津港イルミネーション

※参照③

本校の校医、しおた内科胃腸科医院の院長で、「みなとオアシスくちのつ」運営協議会の代表も務めておられる塩田善之先生のお口添えがあり、美術部の生徒が口之津港前の広場にイルミネーションを作成しました。12月24日には、「みなとオアシス冬のイルミネーション点灯式」が行われ、冬の澄んだ空気の中に浮かぶイルミネーションはとても綺麗でした。

② 福祉科口加げんき体操

※参照④

福祉科1・2年生が、高齢者の外出自粛による運動不足の解消、健康維持・増進のためにオリジナル体操を考案し、「口加げんき体操」としてホームページに公開しました。新聞の記事に取り上げられ、地元のみまわりテレビの取材も受けました。

③ お昼の校内放送

※参照⑤

放送部が、昼休みの校内放送を復活させました。口加ハッピーランチタイムと称し、毎週月曜日に、校内の話題を紹介しリクエスト曲を流しています。全校生徒、職員にとって楽しい昼休みになっています。

(3) 修学旅行

※参照⑥

東京方面への3泊4日の修学旅行は、新型コロナウイルス感染拡大のため、広島・山口に変更して実施する予定でした。ところが、

出発直前に広島県の感染者が急増し、県内(平戸・佐世保)2泊3日の旅行に再度変更して実施しました。生徒の感想は、「波佐見焼の絵付け体験は初めてで良い経験になった。」「潜伏キリシタンなど自分が住んでいる地域と関係することをより深く知ることができた。」「など、極めて好評でした。また、「自分たちのためにいろいろな人が動いてくれていることに感謝している。」「色々な経験ができたのも先生方のおかげです。ありがたうございました。」「といった、教員泣かせの感想もあり、生徒たちの人間的な成長が感じられました。

◆同窓会・PTAからの 本校への支援

(1) 講話の実施

「口加塾」は昨年度は中止となりましたが、玉峯寺の中村知見様、口之津病院の川口武雄様をはじめ、同窓生の方々には、様々な分野に関する講話をしていただきました。後輩のためにありがたうございました。

(2) 激励のはがき

OBの方から、10月に激励のお葉書をいただきました。長崎新聞に掲載された福祉科の出張教室の記事の切り抜きとともに、「コロナ禍の中、自分たちにできることを頑張っていますね。ありがたう。口加福祉科!! これからも「あなた達にできる躍動」に期待します。」とメッセージが添えられています。先輩から見守られていることは、教職員にとっても心強いです。

(3) 菖蒲祭・マラソン大会

※参照⑦

例年菖蒲祭では、PTA母親委員会の方々から食物バザーをしていただいています。今年度は調理不可ということで、PTAの方々が、生徒と職員向けにくじ引きを準備してくださいました。また、マラソン大会でも、豚汁の調理ができなかったため、肉まん・あんまんをふかして提供してくださいました。コロナ禍でも、例年同様、ご支援してくださり感謝しています。

◆創立百二十周年に向けて

令和4年11月16日、創立百二十年を迎えます。12月18日(金)に、林田同窓会長様、同窓会事務局で百二十周年に向けての体制づくりについて、1回目の打合せを行いました。特に今年度は、様々なことを決定していかなければなりません。ご協力よろしく願っています。

◆着納めとなる 制服・体操服

※参照⑧

長年、生徒が着用してきた制服と体操服は、昨年度の卒業生とともに本校を巣立ちました。今年度からは、リニューアルした制服と体操服を全学年の生徒が着用しています。この3年間過渡期にあつた本校がいよいよ新時代へと船出した。3年間お世話になった制服と体操服を卒業生に着てもらい、最後の思い出の写真を撮りました。



株式会社

金属精密加工

新田鉄工所

〒859-2503 長崎県南島原市口之津町丁5376番地
TEL: 0957-86-3261 FAX: 0957-86-5028



代表取締役社長 松尾良弘 (S45年卒)

株式会社新田鉄工所オフィシャルホームページ <http://www.kk-sinden.co.jp>



努力と誠実が生む
一流の「ものづくり」



特集

がまだす!

平成卒の

同窓生

マスコミ等で話題になった平成卒業の「若手同窓生佐藤守護(もりちか)さん」と大島徹也さん」に一筆啓上していただきました。お二人ともコロナ禍の中、家族とともに懸命に地域と向き合い「自己夢」の実現に邁進されています。

『南三陸に生きる』



もりちか
佐藤 守護 さん
(平成10年卒業)
《陸上競技部》

令和3年3月11日、東日本大震災から10年経過した宮城県南三陸町に私はいる。

口加高校を卒業し、その後専門学校を経て南有馬町役場(現・南島原市役所)に就職した。自分が生まれ育った古里のために働きたいという思いから入庁に至った。役所では様々な部署で勤務してきたが、その中の一つに世界遺産登録の推進がある。実家の裏山であった原城跡が世界遺産を目指す、当時は半信半疑のところもあったが、親しんだ原城跡が日本、世界に発信できる仕事に携われたことは大きな喜びであった。

このように古里で働いてきたが東日本大震災によってその状況は一変した。震災から一か月半後、島原半島3市と長崎県は被災者支援チームを結成し、岩手県陸前高田市へ職員を派遣。私は第一陣として向かった。崩れた鉄橋や骨組みだけの建物、折れた電柱。言葉言い尽くせない惨状が目下にあった。2週間、救援物資の荷さばきや避難所の運営に従事し長崎に戻ったが、被災者の事を考えると後ろ髪を引かれる

思いだった。

南島原市は、陸前高田市と同様に津波で大きな被害が出た宮城県南三陸町と災害応援協定を結び職員を派遣してきた。私はこれまでの思いから志願し派遣された。南三陸町は、震度6弱を観測し、20mを超える津波が町を襲った。死者・行方不明者831人。6割を超える建物が津波でやられた。町は「震災前より良いまちにしよう」を合言葉に、官民一体となって復旧・復興に努めてきた。その結果、世界的な認証制度、FSCやASC、そしてラムサール条約の登録を果たしてきた。私は単身4年間派遣職員として勤務してきたが、復興後の町を応援し続けたいと思い、町職員として令和2年度に転職し、家族みなで移住した。

人生は分かれ道の連続。しかし、後戻りできる道はない。だからこそこの一瞬を大切に生きていかなくてはならないと最近強く感じています。

最後に、私についてきてくれた家族、送り出してくれた皆さんにありがとうを伝えたい。



南三陸町の夕日

『ふるさとへの恩返し』

地域まるごと
ホテルプロジェクト
の取組みについて



大島 徹也 さん
(平成14年卒業)
《サッカー部》

この度、同窓会誌にてこのような場をいただき誠にありがとうございます。

今回のテーマ「自己夢」というお題目をいただいたので簡単な自己紹介と活動内容についてお話しします。

高校時代は、サッカー部として毎日遅くまで仲間とともに切磋琢磨した記憶が思い出されます。大学卒業後は県外で就職し、退職後は念願であった世界一周の旅に出ました。県外での社会人経験や旅先での様々な人との出会いを通して、ふるさと長崎の豊かな自然環境や人々の温かさが何よりも魅力あるものだと感じられました。『長崎で自分の使命を全うしたい』という想いが強く沸き起こり、地元長崎にUターン。これまでの経験を還元する為、6年前に宿泊施設(NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海)を茂木町にオープンしました。そこでは、年間7000人ほどの旅行者が訪れ、地域の方々から必要とされるまでに成長しました。しかし、町全体が賑わうまでにはなかなか至らず、どうしたら地域がさらに元気になるのかを熟考し続けた結果、一昨年、長崎県の地域活性化を目的とした『株式会社

ここから長崎』を新たに設立することとなりました。

この会社は、地域課題である空家問題、農業・漁業の後継者問題を解決し、老若男女が住み続けられる街をつくることを使命としています。

昨年12月末には、まちづくり会社の第一号案件として、元いけす料亭をリノベーションした宿泊施設(NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海)をオープンさせました。今後は月と海が地域や旅行者との繋がり場となり、更にはここから派生して5年後には10拠点の飲食店や商店等が増えることを目標としています。訪れる人、暮らす人それぞれが、この街を好きになり、生活を楽しめる空間づくりを進めていく予定です。現在は何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

情勢が落ち着きましたら是非、ご家族・ご友人の方と遊びに来てください。



宿泊施設(NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海)

特集

羽ばたけ!

フレッシュ

同窓生

今回の「あやめが丘」新特集として紹介する、同窓会に加入して3年目を迎える「20歳の荒木瑞姫(みずき)さん」と今年同窓会に仲間入りしたばかりの「第73回卒業生幹事を務める松尾優輝さんと山口愛(まな)さん」です。



みずき
荒木 瑞姫 さん
(平成30年卒業)
《ソフトボール部》

私は現在、長崎県立大学国際社会学部で国際関係やメディア関係について学んでいます。コロナ禍ということもあり、オンラインで留学生と交流したり語学研修をしたりしてグローバル社会で活躍する為の語学力やコミュニケーション力を高めています。また、情報化社会において情報発信力を身につける為のメディアに関する講義もあり、毎日充実した大学生活を送っています。

卒業してからもう2年が経ちましたが、目を閉じれば今でも高校での日々が蘇ってきます。口加高校での3年間は勉強と部活動に打ち込む毎日でした。受験期は、早朝から遅くまでの授業、帰宅しても勉強という生活で心身ともに辛い時もありました。思うように成績が伸びずに不安や焦りで悩むこともありました。そんな時、心の支えになったのはお互い励ましあった友人と常に私たちに寄り添ってくれた先生方でした。切磋琢磨しあえる友人がいたからこそ孤独を感じることなく勉強できました。また、先生方からの「大丈夫」「頑張れ」この一言に何度も救われました。こんなにも素晴らしい友人や先生方に出会い、素晴らしい環境で勉強できた事を誇りに思います。また、部活動での思い出は私の一生の宝物です。私はソフトボール部に所属していました。部員も少なく大会でも中々良い結果を

残すことができませんでした。そんな中「公式戦1勝」という目標を立てて毎日練習に励み、3年時の大会で念願の一勝を手に入れました。それまでの苦労が全て報われた瞬間でした。あの時の嬉し涙を流す仲間や顧問の先生、喜び合う保護者の姿は忘れられません。口加高校での3年間で様々な経験をしたうえで、なりたい自分の姿を思い描くことの大切さを学びました。勉強で辛くなった時は大学で楽しい生活を送っている自分を想像し、部活できつい時は勝って喜ぶ自分たちの姿を想像していました。すると自然とやる気がみなぎってきて、よし頑張ろうという気持ちになりました。目標を達成すること成功することは難しいことです。しかし目標を設定する、なりたい自分をイメージすることはいつでもどこでも簡単にできます。自分の理想を思い描けば自然と行動に繋がっていくはずなんです。私も大学3年生となり就職について真剣に考える時期になりました。働いている未来の自分を想像して将来のためにこれから頑張っていきたいと思っています。

昨年からはじめた新型コロナウイルス感染症拡大ですが今後も収束することなくコロナウイルスと共存する日々が続くと考えられます。今までは違う生活を強いられるうえに先行きが不透明で不安を感じることが多いかもしれませんが明るい未来を信じて頑張っていきたいと思います。私達のがんばるは頑張るではなく「頑張る」です。こういった状況ですが前を向いて笑顔で乗り越えていきたいと思います。



松尾 優輝 さん
(令和3年卒業)
《陸上競技部》

私は口加高校で高校生活を送ることができたことに感謝しています。高校3年間での先生方、保護者の方々、73回生の仲間たちのすべての出会いがかけがえない宝です。

この口加高校で学んだ3年間の思い出は尽きません。特に受験に挑んだ今年度は未曾有のパンデミックによる休校や、高総体をはじめとする多くの行事が中止となり、やるせない気持ちや受験への不安に押しつぶされそうになりました。そんな時、先生方が親身にサポートしてくださったお陰で前向きにがんばることができました。このような状況の中で、もがき苦しむ乗り越えた3年間は「見えないものと闘い、見えないものに支えられた3年間」であり、これらの経験はこれからの人生において大きな糧になると思います。歴史と伝統ある口加高校で学んだ誇りと逆境に全力で立ち向かった自信を胸にこれから夢に向かって頑張っていきます。第73回卒業生代表幹事として母校のさらなる発展のため役割を果たしたいと思っています。



まな
山口 愛 さん
(令和3年卒業)
《陸上競技部》

私は口加高校で充実した高校生活を送ることができたこととても嬉しく思います。この3年間では、先生方や大切な仲間と共に数々の困難や試練を乗り越え、そして喜びを分かち合い、心身共に大いに成長することができました。

進路がなかなか定まらず、悩んでいた私に手を差し伸べ、未来を切り開くサポートをしてくださった先生方には本当に感謝しかありません。

今年度は、コロナという見えない敵と戦う中で、窮屈な思いややりきれない悔しさを味わう場面が多くありました。しかし、日常の小さな幸せに気づく、良い機会にもなりました。これから先の人生もうまくいくことばかりではないと思いますが、この口加高校で学んだことを胸に刻み、精いっぱい頑張っていきます。第73回卒業生代表幹事として母校のさらなる発展に貢献できるようにしっかりと役割を果たしたいと思っています。

第73回卒業生代表幹事

ありがとうございました!!

S43 戸田 年久	S44 大木ヤス子	S45 曾和 淑美	S47 磯田 志郎	S48 大野 豊	S49 林田 幸親	S51 山口 亮一	S52 渡部 博	S54 福田 悦子	S57 平 秀久	S60 黒島 光昭	S62 馬場 底也	H2 山路 直子	H6 福田 純子	H11 ~ノ瀬美奈	H17 平湯 耕三	H22 高見 諒
S43 中村 高信	S44 大町源太郎	S45 谷口 喜隆	S47 岩原 正孝	S48 川口福美子	S49 深塚 尚子	S51 谷口奈美江	S53 嶋山 洋	S54 南 真二	S57 山口 陽子	S60 五島裕一	S62 福田 尚子	H2 山本直美	H6 本 田 敦	H11 鬼山誠一	H17 松本 篤	H22 老島賢一
S43 中村 富男	S44 神低 富子	S45 鶴田 瑞恵	S47 大野 栄喜	S48 川 端 祐子	S49 福西 紀子	S51 倭安 伸也	S53 嶋山 朋子	S54 南原 伸治	S57 林田 賢二	S60 小 淵 忍	S62 松戸敏広	H3 井上真理子	H6 松永 徹	H11 日高 諒理	H17 宮田 亮太	H22 永田佳奈子
S43 中村 直久	S44 亀井 敬江	S45 寺尾いく子	S47 大野 豊巳	S48 菊池 秀三	S49 松尾 昭弘	S51 中尾 隆子	S53 石田 正文	S54 三宅 利治	S57 林田 直一	S60 櫻井 昭子	S62 山下 香里	H3 太田 雅夫	H6 村 里 純一	H11 平湯 洋子	H17 安武 佳子	H22 福田すみれ
S43 中村 正史	S44 桶田為世子	S45 寺川喜代子	S47 大野 義清	S48 北村 二雄	S49 松尾 智子	S51 中尾 俊秋	S53 石橋 真美	S54 宮永 ゆみ	S57 松尾 修一	S60 塩土 敬治	S62 山田 則明	H3 木原 敏久	H6 最上 裕子	H11 川 里 和也	H17 山本祐里江	H22 松下祐輔
S43 林村 幸子	S44 小林 恵子	S45 永野 国夫	S47 乙部ミヨ子	S48 小林 洋一	S49 松尾 博史	S51 永田 浩司	S53 倉 輪 美	S54 山内 祥子	S57 三宅 敏彦	S60 菅 和子	S62 芳澤 十方	H3 菅田 博規	H6 森田 知佐	H12 安藤 嘉英	H17 山 崎 健佑	H22 横田 優
S43 中村 節子	S44 小林 栄一	S45 中村美也子	S47 金子 治子	S48 近藤 妙子	S49 松本 一義	S51 西田 由里子	S53 宇佐美 広	S54 山口 裕子	S57 山下 浩信	S60 平 幹宏	S62 鶴山 二雄	H3 高橋 修一	H7 荒木 慶一	H12 大久保 緑	H18 青木翔太郎	H23 高橋 茉以
S43 中山 俊子	S44 小柳 昌光	S45 奈良 和代	S47 神島 正行	S48 下田 恭子	S49 宮木久美子	S51 林田 奈美江	S53 内田 和美	S54 山崎 美幸	S57 山下 雅嗣	S60 老島 美穂	S62 綾部 富男	H3 竹下 千春	H7 大島 涼子	H12 黒岩 英一	H18 稲 森 妙子	H23 林田 直人
S43 二宮すみ子	S44 佐田 伸介	S45 林田 梨恵	S47 河野 藤久	S48 田口 雅智	S49 村松 美美	S51 林田 勇歩	S53 横本久美子	S54 山下久美子	S57 吉川 里美	S60 谷 口 恵	S62 池田 博幸	H3 西 雅仁	H7 尾崎 寛美	H12 酒井 和樹	H18 大村 豪	H24 酒井 愛実
S43 林田 孝和	S44 島田 雅子	S45 平野 康彦	S47 川村トミ	S48 田口 康博	S49 山越 双美	S51 平田 久美	S53 海田 洋治	S54 山下 信二	S57 伊藤 秀幸	S60 長池 久美	S62 岡野 喜保	H3 高嶋 幸子	H7 川 口 高功	H12 中村 祐子	H18 奥村 健司	H24 笹田 哲
S43 林田 剛	S44 末 統 勝	S45 平湯 宗人	S47 村木 貞子	S48 田口 伸介	S49 山下 功	S51 本多 弘和	S53 梶原 洋子	S54 山田 寿美子	S57 伊藤 洋子	S60 中島 浩介	S62 草野 新佑	H3 林 かり	H7 北内 佐和子	H12 中村 深也	H18 高橋 優一	H24 杉本 剛
S43 林田 博	S44 菅 雄一	S45 本 田 由美	S47 久保 二郎	S48 竹市 安志	S49 山本 祐一	S51 松尾 文義	S53 加藤 肇子	S55 石田 滋賀	S58 伊藤 結美	S60 永 勝 剛	S62 菅 心き	H3 日向 耕治	H7 平 英輝	H12 松本 慎吾	H18 横山 雄大	H24 長池 剛嗣
S43 林田 英人	S44 田島 三美	S45 松尾 直人	S47 酒井 光子	S48 對馬 代子	S49 渡部 藤江	S51 松尾 元治	S53 加藤 肇子	S55 石田 滋賀	S58 岩永 智久	S60 中山 栄美	S62 竹下 英昭	H3 増田 里己	H7 田 頭 明美	H13 片桐 剛一	H18 永友 純子	H24 原田 真衣
S43 林田ちよ子	S44 田所 真実	S45 松尾 良平	S47 酒井 寿治	S48 中島 直子	S49 松尾 留美	S51 松尾 元治	S53 金子 邦彦	S55 井上 令子	S58 若本 武夫	S60 福田 惠香	S62 立石 謙治	H3 松浦 浩二	H7 竹馬 正一郎	H13 川口 智子	H18 中村 俊茂	H24 増田 康平
S43 林田 喜徳	S44 友友 美子	S45 松尾 良平	S47 佐藤 明美	S48 永田 美智子	S49 小崎 正一	S51 森 恵美子	S53 藤部 了子	S55 草野 朝美	S58 大崎 博子	S60 福田 英二	S62 三川 久美	H4 井上 基子	H7 津田 一代	H13 定方 英作	H18 林田 剛	H24 横田 慎
S43 原賀 喜昭	S44 中川 栄代	S45 水町 弘子	S47 澤田 和子	S48 中山 勝子	S49 中山 真一	S51 山崎 正明	S53 児玉 剛	S55 後藤 妙美	S58 小倉 清美	S60 松浦 郁子	S62 濱田 秀人	H4 若 隆之	H7 中山 淳子	H13 瀬戸 由梨	H18 藤 尾 悠照	H25 小川 杏輔
S43 東村 康且	S44 中村 高子	S45 宮田 盛徳	S47 茂 和子	S48 畑田 知子	S49 古賀 智子	S51 山下 治幸	S53 佐藤 諒男	S55 権田 都	S58 門嶋 香奈子	S60 水田 静世	S62 濱田 和子	H4 村 法 貴	H7 本 田 佳子	H13 平 直大	H18 藤田 智丈	H25 五島 由快
S43 平野 康博	S44 吉 操 謙	S45 村田 徳一	S47 下田 敏子	S48 福田 輝臣	S49 酒井 旋巳子	S51 山下 美枝子	S53 佐藤 直高	S55 近藤 伸一郎	S58 川路 敬一郎	S60 清田 雄	S62 平湯 敬敏	H4 高木 祥一	H7 松尾 貴徳	H13 高橋 元善	H18 松本 真由佳	H25 末 織 ゆき
S43 福田 義行	S44 野崎 順一	S45 山岸 美保	S47 城川 啓寛	S48 藤 穂	S49 栗田みつえ	S51 山本 栄治	S53 杉本 哲哉	S55 城川 久利	S58 酒井 幸弘	S60 前田 剛	S62 前田 剛	H4 高橋 奈美	H7 松尾 浩之	H13 渡辺 由起子	H18 菅 祐哉	H25 多 将大
S43 堀内しのぶ	S44 畑 薫八郎	S45 山本 勇	S47 平 利 光	S48 松田 祐子	S49 森山 文昭	S51 山口 和子	S53 高見 信也	S55 元山 久美子	S58 酒井 英生	S60 井上 敏美	S62 松尾 浩二	H4 立山 孝一郎	H7 宮川 志保	H14 井上 太吉	H19 今道 由穂	H25 永田すみれ
S43 本多 保隆	S44 服部 千代	S45 湯田 貞美	S47 高橋 直行	S48 山田 圭一	S49 山口 芳史	S51 伊藤 稔	S53 永友 須美	S55 綾部 翼子	S58 竹 熊 悦子	S61 大島 哲也	S62 森 尚武	H4 馬場 洋志	H7 森島 浩介	H14 小玉 佳奈	H19 菅 雄 剛	H25 藤田 亮太
S43 前田 千津子	S44 松田 美保	S45 青木 祥子	S47 田口 忠久	S48 山本 孝俊	S49 立石 留美子	S51 小田 原 正	S53 中村 慶男	S55 横 部 洋一	S58 田中 紀久美	S61 金子 重紀	S62 山口 展弘	H4 小沢 真志	H7 八木 基彰	H14 佐藤 上子	H19 宮 裕哉	H25 本多 康也
S43 松尾 孝一郎	S44 林田 久行	S45 市川 早苗	S47 田 和 子	S48 米田いつ子	S49 津山 美智子	S51 清池 房子	S53 中村 安次郎	S55 荒田 智子	S58 竹 馬 晋	S61 酒井 広治	S62 山口 里保	H4 山本 剛介	H7 山口 吉範	H14 平 修一	H19 関 ちひろ	H25 幸田 郁也
S43 松尾 三千枝	S44 日 高 光 子	S45 若 億 久	S47 津留 晴子	S48 荒木 聖香	S49 寺田 和 仁	S51 酒井 玲子	S53 中村 一也	S55 若 田 美枝	S58 永田 有香子	S61 佐藤 由美	S62 山本 栄治	H5 荒木 勝	H8 井上 龍樹	H14 松本 昭仁	H19 本多 寿一	H25 山本 健斗
S43 松尾 たか子	S44 平 通 正 平	S45 江 浩 一	S47 福田 秀寛	S48 白田 啓寛	S49 石川 万子	S51 酒井 由美子	S53 西 恵子	S55 池田 美穂	S58 永田 美枝	S61 池田 美穂	S62 井口 津夫	H5 西川 俊徳	H8 島田 信宏	H14 森下 佳奈	H19 水島 史織	H25 横山 雄大
S43 松尾 美和	S44 本多 俊英	S45 尾山 克子	S47 沢 沢 洋輔	S48 石川 万子	S49 石川 万子	S51 酒井 好二	S53 相良 澄友	S55 馬場 孝司	S58 金子 文	S61 池田 恒徳	H1 池田 幸子	H5 氏原 巧	H8 平 孔龍	H15 石川 寛之	H19 山本 紗織	H26 泉 美里
S43 林田 武義	S44 松井 裕美	S45 門 嶋 鶴代	S47 林田 東方	S48 稲 森 義孝	S49 林 鈴子	S51 藤田 栄	S53 藤田 栄	S55 松井 洋一	S58 西島 信子	S61 兼 俊 俊郎	H1 兼 俊 俊郎	H5 平田 智子	H8 高橋 尚	H15 稲 富 武	H20 稲 森 信二	H26 井上 梅斗
S43 松本 大次郎	S44 松尾 知恵子	S45 酒井 月子	S47 原 口 勉	S48 稲 森 代美	S49 松本 真利子	S51 藤田 口 慎一	S53 藤田 口 慎一	S55 小林 博之	S58 林田 久	H1 定方 信雄	H5 大村 千恵美	H8 長谷川 健太郎	H9 大野 洋平	H15 大村 亮二	H20 酒井 幸太郎	H26 井上 夏実
S43 宮本 恵男	S44 松本 幸子	S45 酒井 好彦	S47 東村 一美	S48 大串 典子	S49 宮川 和也	S51 山口 克哉	S53 山口 克哉	S55 酒井 善次	S58 田中 雅哉	H1 田中 雅哉	H5 兼 俊 美恵子	H9 大久保 千夏	H9 久保 千恵美	H15 酒井 紗綾香	H20 末 鏡 平 博	H26 北尾 友実
S43 宮崎 雅子	S44 松本 千年	S45 塩田 勝彦	S47 平 湯 博	S48 大村 純一郎	S49 大村 政嗣	S51 野 時 治	S53 野 時 治	S55 酒井 洋一	S58 福田 洋行	H1 永友 良純	H5 久岡 敬一郎	H9 大野 洋平	H9 奥平 真美	H15 中村 庄吾	H20 中村 敏志	H26 小嶺 真琴
S43 森下 順一郎	S44 森 哲夫	S45 三上かつ子	S46 白 地 淳	S47 福田秀寛	S48 森山 秀子	S51 山口 寿治	S53 山口 寿治	S55 松本 多子	S58 浦田 悠	H1 西島 俊幸	H5 七条 克広	H9 川口 雅功	H9 永吉 真由子	H15 渡部 明日太	H20 本多 佑吏	H26 白石 茜
S43 山岸 文子	S44 森 賢二	S45 平 富久	S46 平 富久	S47 松崎 千秋	S48 北村 博幸	S51 吉田 修生	S53 吉田 修生	S55 永野 和代	S58 宮崎 京子	H1 八木 重一	H5 本多 弘	H9 栗田 美和	H9 永石 里沙	H16 石 橋 香葉	H20 渡部 沙弥佳	H26 長池 都希子
S43 山下 久美	S44 山下 志羽	S45 平 智子	S46 平 智子	S47 松本 信太郎	S48 小関 伊津子	S51 浅井 要	S53 浅井 要	S55 永野 和代	S58 山下 真理子	H1 山本 雅之	H5 中山 博和	H9 永石 里沙	H9 永石 里沙	H16 中村 悠	H21 若 翁 智博	H26 野澤 真りか
S43 若林 かつ子	S44 山本あけみ	S45 田 頭 秀 孝	S46 谷口 由美子	S47 森 志 保	S48 小川 智子	S51 永田 泉香	S53 松尾 健吾	S55 宮本 敬郎	S58 岡野 加奈子	H2 小 淵 隆	H5 松田 亜希子	H9 林田 昌純	H9 林田 昌純	H16 中村 悠	H21 松尾 翔真	H27 渡部 涼太
S44 青山 千津子	S45 安藤 幸唯	S46 中村 龍之介	S47 山本 信也	S48 中村 龍之介	S49 近藤 久人	S51 大原 正史	S53 松尾 弘美	S55 坂本 直美	S58 村田 和美	H2 志方 章紀	H5 松崎 慎治	H9 松尾 修二	H9 松尾 修二	H16 横山 雄一	H21 松本 研	H27 吉藤 孔明
S44 飯田 則行	S45 市 倉 厚夫	S46 林田 富代子	S47 山本 厚子	S48 近藤 久人	S51 東原 紳太郎	S52 酒井 久	S54 藤原 正	S56 伊崎 智恵子	S59 福田 保幸	H2 岡 城 慈生	H5 西園 康治	H9 永吉 真由子	H9 永吉 真由子	H16 和田 崇樹	H21 宮崎 さくら	H27 若 翁 ちひろ
S44 池田 みどり	S45 井川 雅子	S46 日置しず子	S47 磯田 俊二	S48 酒井 久	S51 黒田 富美子	S52 松 藤 正	S54 田口 洋一	S56 三宅 孝子	S59 林田 耕一	H2 平 章生	H6 大久保 麻美	H9 宮田 直人	H9 宮田 直人	H17 安藤 仁美	H21 山下 弘智	H27 永友 悠
S44 井出 益美	S45 尾上 伊恵子	S46 松田 庄平	S47 上 地 善美子	S48 清水 真守	S51 小林 通昭	S52 松本 君枝	S54 樽田 榮記	S56 石 橋 弘一	S59 山本 真奈	H2 常 岡 美弥	H6 佐藤 幸純美	H9 森下 裕司	H9 森下 裕司	H17 澤井 未季	H22 井出 杏奈	H28 本多 智華
S44 大 重 昭 意	S45 金子 修司	S46 峯 博子	S47 上 地 善美子	S48 清水 真守	S51 小林 通昭	S52 松本 君枝	S54 樽田 榮記	S56 石 橋 弘一	S59 山本 真奈	H2 林田 理恵	H6 三田 知代子	H10 秋吉 敦子	H10 秋吉 敦子	H17 多良 義恵	H22 小田 翼	H28 菅 百芳
S44 若田 俊博	S45 栗田 正光	S46 三宅 新二	S47 上 野 美 子	S48 高橋 加代子	S51 酒井 祐二	S52 三宅 和徳	S54 中 司 晃	S56 川口 武雄	S59 山本 真奈	H2 原田 みさ	H6 立花 美奈子	H10 畑田 梨江	H10 畑田 梨江	H17 友友 奈都子	H22 鬼山 周也	H28 五島 栄樹
S44 若 本 意二	S45 酒井 繁	S46 山本 伸夫	S47 浦部 英臣	S48 田添 美明	S51 酒井 英子	S52 宮崎 泰久	S54 中 司 晃	S56 川口 武雄	S59 山本 真奈	H2 溝上 晃吾	H6 中島 敬一	H10 松 藤 由佳	H10 松 藤 由佳	H17 松 永 香	H22 五島 栄樹	H28 五島 栄樹
S44 大久保 善美	S45 佐藤 藤太	S46 吉田 多恵子	S47 大久保 真弓	S48 中村 信江	S51 酒井 茂徳	S52 宮崎 弘	S54 西川 由美子	S56 小松 美佳	S59 佐々木 祐一	H2 村川 由紀	H6 林田 直樹	H10 山崎 一朋	H10 山崎 一朋	H17 林田 千佳	H22 菅 彩歌	H28 菅 彩歌
S44 太田 茂	S45 陣野 泉友	S47 東 玲子	S48 大崎 郁子	S49 林田 強	S51 高橋 まゆみ	S52 村田 哲也	S54 林田 耕	S56 佐々木 祐一	S59 菅 龍介	H2 森 誠	H6 八木 紀子					
S44 大野 誠二	S45 菅沼 雅子	S47 井口 敬次	S48 太田 庄二	S49 林田 久義	S51 田口 朝光	S52 山本 哲也	S54 平 木 修	S56 菅 龍介	S60 川村 慶子							

(※氏名左の数字は卒業年・敬称略)

同窓会誌「あやめが丘」発行に伴う「サポート事業」に、深いご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。今回で同窓会誌を54回(54年)発行してまいりましたが、配布残が事務局に多数残り、全国に広がる会員の皆様へ届けられない状況が長年続いていました。5年前、本部役員で検討し、1人でも多くの会員の皆様へお届けして喜んでもらおうと企画(会報誌を会員に直接郵送)したのが、「サポート事業」の始まりでした。お届けする「あやめが丘」が同窓会の絆を更に深めるとともに、卒業生(同窓会員)が激減する中、現役への十分な金銭的サポートができない状況を解決できないかと実施しました。「あやめが丘」発行に伴う企業広告、サポート事業に協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。今年度も、サポート事業の取組を行います。皆様のご協力よろしく申し上げます。



代表取締役 **福田 健蔵**
昭和40年卒業
南島原市口之津町出身



株式会社 ケン・コーポレーション
〒125-0042 東京都葛飾区金町6-2-1-3604
URL <http://www.kencorpo.com/index.html>

毎年秋に開催の弊社主催イベント「ケン・コーポレーションドラコンフェスティバル」はBSフジ(全国放送)で放映されます

平成29年度～
令和2年度

サポート事業協力金

S15 中道トキワ	S24 高崎三恵子	S27 横山俊英	S29 高橋勝太郎	S30 松本英夫	S31 松村武雄	S33 荒木正匠	S34 五島和義	S35 進藤光久	S36 城谷高介	S37 馬場英雄	S38 原田文代	S39 中村晴幸	S40 中井ヒデミ	S41 篠永久美	S42 岡本平八郎	S43 本田久康
S17 松尾ヒロミ	S24 前田敬子	S27 吉見和子	S29 竹下好子	S30 清上美穂	S31 松本典子	S33 石田恵子	S34 後藤義昭	S35 杉浦成子	S36 須賀早智子	S37 馬場栄子	S38 福田保	S39 中山健一郎	S40 永江親人	S41 永田秀子	S42 岡本幸政	S43 増田美緒子
S17 松木つゆ子	S24 町田貞子	S27 吉本葉代	S29 田中信春	S30 三宅弘行	S31 清田健次郎	S33 大草初子	S34 小淵紀昭	S35 瀨川雅雄	S36 園城義孝	S37 林田セツ子	S38 藤井紀美子	S39 信友啓子	S40 永江邦広	S41 永野幸代	S42 尾原廣江	S43 松尾和子
S18 猪俣フヨ子	S25 荒巻洋子	S28 荒木キヨコ	S29 多比良道郎	S30 宮崎友美	S31 宮原俊彦	S33 大熊国久	S34 小嶺稔	S35 只原恵子	S36 平徹也	S37 堀田信一	S38 本田敏平	S39 橋本幸子	S40 中尾力スミ	S41 西田弘子	S42 加藤重子	S43 松下良則
S18 哲翁士	S25 井関礼子	S28 川路哲郎	S29 多比良誠之	S30 宮田康雄	S31 吉田隆士太郎	S33 大崎一雄	S34 相良紀子	S35 田中貞子	S36 高木多恵	S37 藤井義昭	S38 林田正臣	S39 林田正臣	S40 中島ささ	S41 林田和道	S42 金文夫	S43 松田信昭
S19 多比良良子	S25 末藤 勝	S28 北野嘉之	S29 永田 雅	S30 宮本文子	S32 荒木洋子	S33 大島和子	S34 相良笑子	S35 谷島一臣	S36 高橋輝美	S37 増嶋義弘	S38 増嶋邦生	S39 藤田 聡	S40 日向 啓	S41 林田清美	S42 河井京子	S43 松田伸介
S19 馬場寿美香	S25 平田登美	S28 久米克業	S29 中村興登	S30 岡 英俊	S32 井口一英	S33 川崎玲子	S34 相良 薫	S35 塚原竹子	S36 津田明伸	S37 樹本梢子	S38 松浦安都子	S39 藤尾和子	S40 福田健蔵	S41 林田啓介	S42 川村たつみ	S43 松本政博
S19 平登富子	S25 多比良出来	S28 小松昭善	S29 中村芳郎	S30 森谷和一郎	S32 大崎節子	S33 菊池文香	S34 相良義博	S35 殿村ヤス子	S36 鶴田美智子	S37 松尾嘉幸	S38 松尾律子	S39 本多靖恵	S40 福田和子	S41 林田曜也子	S42 菅藤 武	S43 真西理希子
S19 村上千恵子	S25 中條有子	S28 小嶺千枝子	S29 西浦純一	S30 山村 厚	S32 堀股みどり	S33 隈部玲子	S34 志岐美恵	S35 朝長多賀子	S36 中上貢哉	S37 松田正洋	S38 松田 晃	S39 松尾常雄	S40 不破昌子	S41 播岡洋子	S42 木部秀子	S43 清田 幸
S20 稲田ナチ	S25 萩野清子	S28 島田和子	S29 橋田隆男	S30 山本磯子	S32 上杉和夫	S33 斎藤明子	S34 下釜美登里	S35 永江弘子	S36 永田幸治郎	S37 清田正昭	S38 松本仙作	S39 村上正成	S40 本田一秀	S41 福田美代子	S42 木村邦子	S43 中野達男
S20 菅 エミコ	S25 馬場治之	S28 島田ミサエ	S29 馬場敬明	S30 油野水三郎	S32 永川修輔	S33 白山ミサエ	S34 白倉忠孝	S35 永江誠二	S36 永田正則	S37 村上聖子	S38 三宅勝雄	S39 最上カト	S40 益村モモヨ	S41 松尾 剛	S42 栗野三代子	S43 宮本文子
S20 田口たつ子	S25 多本一利	S28 杉本とく恵	S29 井上幸子	S30 山本雅子	S32 大崎節子	S33 白山ミサエ	S34 三宅孝子	S35 中村房美	S36 三宅道夫	S37 山田ミサ子	S38 三宅道夫	S39 森浦渥一郎	S40 松尾トシエ	S41 松尾すわ子	S42 栗田幸枝	S43 村田和夫
S20 永田三幸	S25 増嶋久子	S28 園田 敬	S29 林田照子	S30 石川恵美子	S32 太田貞明	S33 田中文字子	S34 鈴木敬子	S35 中野妙子	S36 野辺寿江	S37 吉田英治	S38 松田 晃	S39 松尾常雄	S40 松田祐三	S41 松尾末好	S42 黒島文章	S43 森 孝子
S20 中村ツヤ子	S25 元山芳晴	S28 田口一義	S29 早瀬川隆子	S31 井上好子	S32 加茂隆隆	S33 中源太郎	S34 平 孝子	S35 中村房美	S36 馬場史子	S37 吉田ハルエ	S38 村田多恵子	S39 山崎広子	S40 松永千穂子	S41 松尾 正	S42 森 政和	S43 森 敦知
S20 堀江光香	S25 森 貞子	S28 竹下康徳	S29 本多正市	S31 岩本義次	S32 川口 正	S33 田原幸子	S34 津田伸行	S35 中村妙子	S36 早川美樹	S37 池田範由	S38 森下武徳	S39 久保厚子	S40 松本敏八	S41 松尾幸利	S42 小堀美記子	S43 森内みつ子
S21 井上澤子	S26 伊崎正子	S28 田中直孝	S29 本多辰元	S31 柴木剛洋	S32 久間キミ	S33 竹馬 勲	S34 中村孝法	S35 馬場知行	S36 林田一義	S37 森谷広太郎	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S21 河田美子	S26 石川一也	S28 富永桂子	S29 清浦恒信	S31 江島利雄	S32 草野哲郎	S33 永田 悦子	S34 西岡三重子	S35 馬場美智子	S36 原田建夫	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S21 長門昭子	S26 岩田敬子	S28 中村房子	S29 元山盛夏	S31 大木 格	S32 古賀富子	S33 中路清子	S34 馬場島子	S35 浜崎安正	S36 原田弓枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S21 本多スギ	S26 川島好子	S28 野崎達也	S29 山上幸子	S31 加藤八重子	S32 古賀真之助	S33 中村勝次	S34 増嶋和宏	S35 松本悦子	S36 原田英和	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S21 松尾マス子	S26 菊地道子	S28 原賀 聡	S29 山崎由久	S31 川口春利	S32 小柳軍任	S33 中村哲男	S34 松永忠義	S35 平野春記	S36 平田重子	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S21 吉田とみ枝	S26 北村アミエ	S28 久芝 界	S29 山本弘弘	S31 川口良澄	S32 斉藤慶子	S33 中村良子	S34 松尾長久	S35 平澤隆子	S36 藤尾了拙	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 生嶋逸子	S26 小嶺敦子	S28 日向武恵	S29 荒木信恵	S31 草野政博	S32 柴田和彦	S33 浜田ヒサ子	S34 三原優子	S35 真多繁子	S36 松尾健一郎	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 原田寿和	S26 松本スミエ	S28 日向美子	S29 井川伸太郎	S31 草野恵子	S32 島津隆恵	S33 林田善彦	S34 三宅康夫	S35 松浦健一	S36 松尾利昭	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 宇土 順	S26 佐佐木佳子	S28 福田昇三	S29 井上富雄	S31 岡光幹夫	S32 城 勝	S33 藤丸重利	S34 宮崎郁枝	S35 松澤三三	S36 松尾節美	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 久岡ミエ子	S26 田口志博	S28 松尾美智子	S29 大石 勉	S31 古賀大八郎	S32 城谷健二	S33 本村昌吉	S34 宮崎明子	S35 松本洋三	S36 松尾雅義	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 小川志枝	S26 中島清秋	S28 松本哲也	S29 山口 浩	S31 小玉 誠	S32 杉谷隆二	S33 松尾利彦	S34 藤丸久子	S35 石川順一	S36 松本恵子	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 辻本美枝子	S26 永松暉子	S28 松本昭子	S29 川路百合子	S31 小林幸子	S32 高橋 綾	S33 松山嘉紀	S34 山崎文子	S35 宮崎美津枝	S36 清田又男	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 中田房子	S26 福原悦子	S28 最上恵美子	S29 山本信孝	S31 櫻嶋和子	S32 下條治	S33 溝口光子	S34 山田崇雄	S35 森 嘉和	S36 最上典哉	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 西田シズカ	S26 藤原郁子	S28 森崎 萌	S29 荒 宏子	S31 佐藤康三	S32 田中光則	S33 宮崎利康	S34 山本与四郎	S35 吉田昭男	S36 松本春子	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 菅崎要子	S26 松本スミエ	S28 森本幸子	S29 志岐豊貴	S31 志岐豊貴	S32 飛永まきみ	S33 森 清子	S34 藤丸久子	S35 石川順一	S36 松本恵子	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S22 山本和子	S26 宮澤マスエ	S28 瀬田キヨ子	S29 田中克憲	S31 末続 勇	S32 内藤慶喜	S33 森下伸子	S34 吉岡幸江	S35 井上 嵩	S36 山田美枝子	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 伊藤照子	S26 渡部安子	S28 吉田健二	S29 田中一則	S31 苑田忠子	S32 永田 重	S33 森永正光	S34 吉田達生	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 猪俣美代子	S27 石川芳照	S28 多比良力子	S29 中村メ子	S31 田口英雄	S32 中野 求	S33 森芳七世	S34 丸丸尚郎	S35 生玉満子	S36 大木田隆三	S37 阿萬公雄	S38 松尾修治	S39 森田元夫	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 大熊カズ子	S27 石野アキ子	S29 荒川澄子	S30 朝永操二	S31 常岡繁行	S32 中村誠之助	S33 山口マツ子	S34 山崎 章	S35 井口幸雄	S36 大木田隆三	S37 阿萬公雄	S38 松尾修治	S39 森田元夫	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 久保田恵子	S27 猪澤恵子	S29 井上安彦	S30 永尾 真	S31 寺田芳香	S32 重部時子	S33 山口和江	S34 丸丸尚郎	S35 生玉満子	S36 大木 様	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 小林幸枝	S27 植木一好	S29 井上 勲	S30 永野国広	S31 寺田唯昭	S32 林田公一	S33 山崎 章	S34 丸丸尚郎	S35 井口幸雄	S36 大木田隆三	S37 阿萬公雄	S38 松尾修治	S39 森田元夫	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 猪俣美代子	S27 金子元久	S29 岩切英一郎	S30 中村メ子	S31 飛永強一郎	S32 福田七郎	S33 森芳七世	S34 丸丸尚郎	S35 生玉満子	S36 大木 様	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 杉本昌代	S27 相良好子	S29 梅木康子	S30 野口一彦	S31 富永マサ子	S32 福田 敦	S33 一貴敏子	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 田中文恵	S27 副島康正	S29 大善 隆	S30 馬場 健	S31 永井ノブ子	S32 福田 学	S33 永井ノブ子	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 中ノ瀬壽子	S27 平 源一	S29 岡本光義	S30 林田福男	S31 永友征子	S32 本多文子	S33 松尾修治	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 浜田ソウ子	S27 高崎三恵子	S29 林田美穂	S30 林田美穂	S31 永友泰久	S32 本多文子	S33 松尾修治	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 平山綾子	S27 高橋義夫	S29 加藤フエ子	S30 平片 誠	S31 秀島佐緒子	S32 前田 壮子	S33 松尾修治	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 平瀬和子	S27 田中栄子	S29 上川昭之助	S30 藤田和子	S31 平瀬勇治	S32 松本安男	S33 清田常男	S34 森和夫	S35 岡本 宏	S36 小松博樹	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 松尾初子	S27 友永文香	S29 川口昭一	S30 藤田茂穂	S31 福田吉郎	S32 清田常男	S34 森和夫	S35 岡本 宏	S36 小松博樹	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好	
S23 松本スミエ	S27 鳥居 工	S29 北村美子	S30 本多尊光	S31 福田弘光	S32 光武幸子	S33 川島洋子	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 山北マツエ	S27 中村祐子	S29 草野尊徳	S30 本多敏雄	S31 本多美保	S32 宮崎美登子	S33 北野浩一	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 山本アツ子	S27 馬場明子	S29 古賀邦彦	S30 前田利英	S31 本多源一	S32 宮田誠子	S33 城戸紀公	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S23 山本サキ子	S27 林田二郎	S29 古賀健亮	S30 松崎初代	S31 松尾東洋	S32 村井良子	S33 久岡幸生	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S24 石川ミツ子	S27 原口澄子	S29 近藤嘉壽	S30 松下雅恵	S31 松尾泰博	S32 最上郁夫	S33 草野紀元	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S24 石野アキ子	S27 松尾春清	S29 笹田保盛	S30 松田芳輝	S31 松尾カツ子	S32 山鹿タイ子	S33 久保ハル子	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好
S24 潘田瓜子	S27 松尾昌輝	S29 笹田公子	S30 松本アツ子	S31 松村卓哉	S32 山下喜平	S33 丸丸尚郎	S34 丸丸尚郎	S35 猪股幸枝	S36 猪股幸枝	S37 松尾修治	S38 森田元夫	S39 渡辺良美	S40 相川健一	S41 三浦幸子	S42 森谷悦男	S43 酒井政好

令和2年度サポート事業決算は右記の通りです。皆様から送られた大切な協力金は、現役へのサポート資金並びに同窓会活動費として、有効に活用させていただきます。

令和2年度 会報誌サポート事業(発行協力金)
(令和3年3月31日)

【前期繰越金】	前期より繰越(発行準備金)	863,550円
【収 入】	サポート事業納付金額	1,817,000円
	入会件数(504件)	
	広告宣伝費協賛金	710,000円
	協賛件数(41件)	
	預金利息	4円
	収入合計	3,390,554円

【支 出】	作成費	会報誌作成(13,800部)	455,400円
	印刷費	封筒・振込用紙印刷他	608,726円
	郵送料	発送郵便料(12,613通)	1,007,724円
	手数料	振込手数料・通知料金	101,644円
	繰入金	同窓会一般会計へ繰入	200,000円
	雑 費	受払状況調査発行料他	2,577円
	支出合計		2,376,071円
【収支残額】	次年度繰越金(次年度発行準備)		1,014,483円



CASTELLA LAND

長崎カステラランド

長崎県雲仙市愛野町乙5864
TEL 0957-36-2000

有限会社 和泉屋
代表取締役 井上 確 (昭和42年卒)

📷 橘湾・島原半島を眺める大展望台!

🍴 展望抜群!「海の見えるレストラン」

📖 皆で楽しく「カステラづくり体験」
※20名様以上

NPO法人
みなみしまばらあやめ寮
《口加学生寮》
創設

平成26年12月、「高校未来創造を考える会」を福田健三氏（S40年卒）の発案で発足（平成31年まで17回開催）。口加高校を取り巻く現状・課題等を協議し、解決へ向けての具体的方策を、学校、同窓会が一体となり実現へ向け取り組んだ。直近の主な課題として、「定員の生徒数を確保する」ための方策が協議された。この会の存在が後の「NPO法人」設立への原点となり、令和2年に口加高校学生寮建設へ向け、同窓会有志で「NPO法人みなみしまばら（理事長林田新一）」を設立した。

口加高校も時代の流れとともに変革する。明治35年口之津女子手芸学校として誕生し、昭和5年口加高等女学校、昭和23年現在の口加高校となる。創立118年の県下でも歴史と伝統の高校である。最近では、少子化に伴う学校の生き残りをかけ、定員数の調整、新しい学科（グロ

ーカルコース・福祉科）の創設で受験生のニーズに合わせた試みに挑戦する。結果は直ぐに出なくとも、将来展望をしつかり見据えた取り組みに教職員・生徒・同窓会が一丸となった。

平成29年4月、普通科にグローカルコースを新設した。グローカルコースは、特別進学コースとして島原半島から40人を集め東大・京大・九大の国立大学や早稲田・慶応等の有名私大を



揮毫：最上 静山 様（S36卒）
看板材寄贈：多比良 良久 様（S35卒）

目指せる生徒を輩出し、将来は世界的なグローバルな視野を持つ国際人、地域に根差したローカル人材を併せ持つ「地球規模で考え、足元から行動する」人材を作るコースである。平成31年4月に新設した福祉科は、今後の日本高齢化社会を担う重要な人材を育てる目的に創設された学科であり、在学中に各種福祉資格の受験資格を得られる長崎県公立高校で初めての学科である。

これらの現状を踏まえ、同窓会では「更なる口加ブランドの発掘と魅力ある地元高校存続」を掲げ、校区外生徒の受け入れ環境を整えるため、市や関係機関との折衝を経て、今年度より松尾好弘氏（S56年卒）宅2階部分を改修し、口加学生寮（定員6名）としてスタートした。今年度は1名の入寮者である。今後はNPO法人で学生寮の運営を担い、母校の活躍と発展をサポートしていく。

新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ではございますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

全国の同窓会員の皆さんへ、今年も「あやめが丘」をお届けすることができました。本号は同窓会の活動や母校の状況、後輩たちの活躍を掲載して編集しました。情報収集の足りない部分もありますが、お許しください。ご多忙の中に、執筆・編集にご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

編集
集
後
記1人でも多くの皆さまに
「同窓会誌」を直接お届けするために！
（住所変更・ご意見返信はがきの取扱）

毎年、会員さまの卒業後の正確な住所が分からず、実家へ配達されたり、転居先が不明で返信されるものがあります。

事務局では1人でも多くの同窓会員の皆さまの手元に「あやめが丘誌」をお届けできるよう、調査・確認を進めているところです。同封の「返信はがき」で、現在お住いの住所を届けていただくと、次回からはそちらへ送付させていただきます。

また、卒業生なのに届かなかったなどの情報がありましたら、事務局までお知らせください。なお、連絡の際には、住所・氏名(旧姓)・卒業年もお知らせください。



「あやめが丘」誌を会員一人ひとりに確実にお届けするために、住所の変更等がありましたら、同封の「返信はがき」に、ご記載の上、郵便ポストへ、投函願います。また、ご意見等がありましたら、お寄せください。

※個人情報の取扱は厳重に管理し、同窓会の連絡等に限り使用します。

本 部 役 員

会 長	林田 新一（口之津 S42年卒）	顧問	久間 章生（加津佐 S34年卒）
副会長	大野 豊（口之津 S48年卒）	顧問	元山 芳晴（加津佐 S25年卒）
副会長	宮崎 太（南有馬 S50年卒）	顧問	井上 安彦（南有馬 S29年卒）
副会長	中島 浩平（加津佐 S61年卒）	顧問	林田 壽彦（加津佐 S33年卒）
監査委員	森下順一郎（口之津 S43年卒）	顧問	吉田 英治（口之津 S37年卒）
監査委員	大村純一郎（加津佐 S49年卒）	顧問	松本 政博（加津佐 S42年卒）
		顧問	中島 浩介（加津佐 S60年卒）

同窓会事務局

校長 竹嶋 潤一
教頭 増本 欣也
事務長 竹下 孝幸
事務局 黒田 晃子（S63年卒）
会 計 永吉 照美（S53年卒）
庶 務 松山 辰徳（H14年卒）
庶 務 志方美千代（S54年卒）

〒859-2502 南島原市口之津町甲3272番地
TEL 0957-86-2180 FAX 0957-86-2307
E-mail: kouka-h@news.ed.jp

見てね！口加高校HP



口加高校HP

事務局だより

卒業証明書・成績証明書・調査書などの各種証明書が必要な場合は、口加高校事務室へ請求してください。